

絶滅危惧種

イトウ「魚鬼」を知る

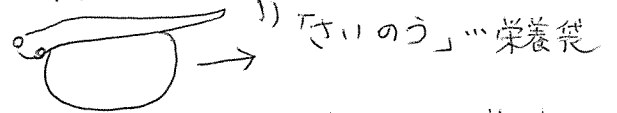
ほろプラ新聞 vol.2 で紹介した
イトウの採卵の取り組みのつづきです

朱鞠内の
イトウの卵
黄色で
イクラより
大きめ

発眼までに
毎日の平均水温
合計 200℃
約20日ほど



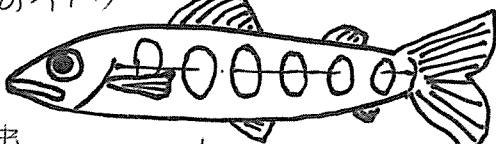
卵浮化!



発眼した卵を自然に近い形で放流
「埋没卵放流」

昔はイトウがいたけれど
見られなくな、た、河川にのみ
実験的にイトウの卵や稚魚の
放流を行っています

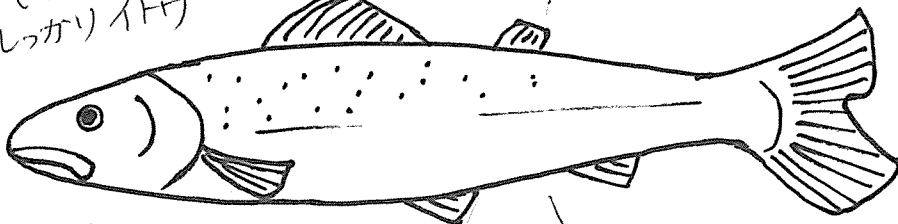
稚魚のイトウ



水生昆虫
の幼虫を食べます → パーマーク

「パーマーク」…サケの仲間の体に表れる
小判型の模様。
イトウは成長と共に
パーマークが消えていきます。

幼魚のイトウ
小さくても
顔はしっかりイトウ



「あぶらびれ」…サケの仲間には
ある特徴的なひれ。
特に泳ぎに大きな
影響はなしひれ。

小さな魚も食べるようになります → パーマークは消えます

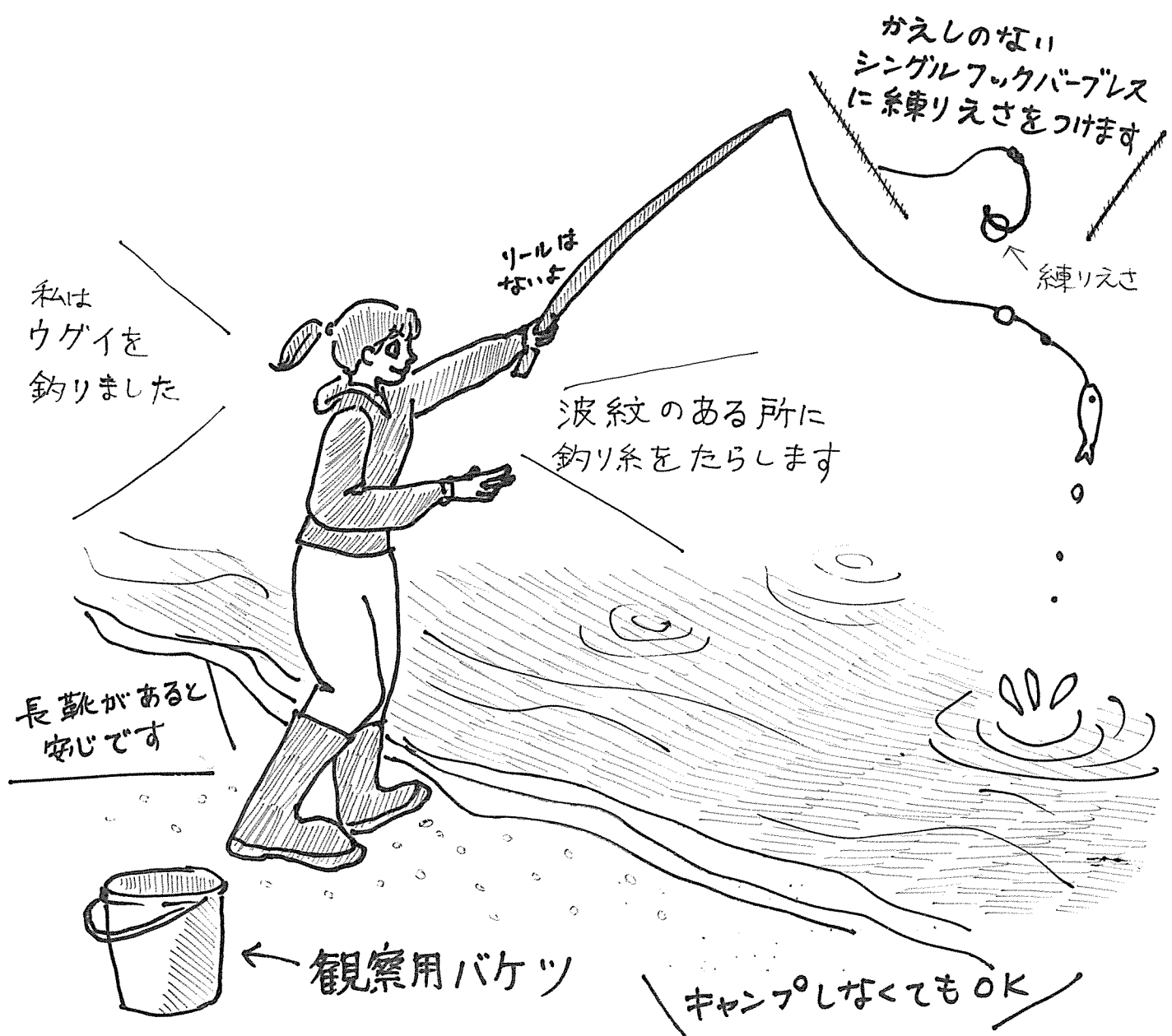
イトウ保護の取り組み 「産卵床の調査」

朱鞠内湖のイトウさん
LINEスタンプ^o スタンプの収益
販売中! はイトウ保護活動
に役立てられます

産卵床とは、イトウが川底を掘って卵を産み、埋め戻した場所のこと。
調査することにより、イトウの生息数や河川の様子、イトウが産卵できる
環境があるかなどがわかります。毎年継続して調査することで、
イトウの生態や環境のことがより深く知ることができます。

朱鞠内湖前浜で 釣り竿 レンタルで
 コイ・フナ 釣りチャレンジしませんか?

コイ・フナ遊漁料 + レンタル代で
 手ぶらで気軽に釣りができます
 風の無い日
 がオススメ



レンタル場所 ... 朱鞠内湖畔キャンプ場
 詳しくはこちらへ 0165-38-2101